



関町小通信

平成29年3月9日
練馬区立関町小学校
学校だより 臨時号

平成28年度の体力調査の結果のお知らせ

昨年6月に例年実施している児童の体力・運動能力調査（「体力テスト」）を実施しました。その結果と明らかになった本校の課題と改善のための取り組みや対応策をお知らせします。

●東京都児童・生徒体力・運動能力調査の結果（一部抜粋）

※Tスコアは、東京都の平均を「50」としたときの学校の偏差値を表しています。

○1年生

			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	関町小	平均	6.6	9.9	27.2	27.5	19.9	11.5	110.5	7.3	28.4
	東京都	平均	9.1	11.1	25.6	26.7	17.1	11.5	111.7	7.7	29.5
		Tスコア	39.3	47.7	52.4	51.7	53.2	49.3	49.3	48.8	
女子	関町小	平均	6.0	10.2	28.1	27.4	16.7	11.8	111.5	5.8	30.5
	東京都	平均	8.4	10.7	28.3	25.7	14.1	11.8	104.2	5.3	29.4
		Tスコア	38.3	49.1	49.7	54.0	54.6	50.4	54.6	52.9	

○2年生

			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	関町小	平均	9.6	12.3	28.4	32.4	28.6	10.5	123.2	12.1	37.7
	東京都	平均	10.8	13.9	27.2	30.7	26.8	10.6	122.8	11.2	37.0
		Tスコア	45.2	46.9	51.8	52.8	51.3	50.7	50.2	52.1	
女子	関町小	平均	9.1	12.2	32.4	31.2	22.5	10.8	113.6	6.6	37.6
	東京都	平均	10.2	13.4	30.4	29.5	20.6	10.9	115.2	7.1	37.3
		Tスコア	45.6	47.5	52.9	53.3	52.1	50.9	49.0	48.0	

○3年生

			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	関町小	平均	11.3	15.2	26.5	33.9	38.5	9.8	143.1	15.3	43.5
	東京都	平均	12.6	16.1	29.2	34.5	35.4	10.0	133.0	14.8	43.2
		Tスコア	45.2	48.5	46.1	49.1	51.8	52.4	55.6	50.9	
女子	関町小	平均	11.6	15.3	30.0	31.1	27.7	10.1	137.5	9.2	44.0
	東京都	平均	11.9	15.6	33.0	32.8	26.4	10.3	125.6	8.9	43.8
		Tスコア	48.9	49.5	45.8	47.4	51.1	52.6	57.0	50.8	

○4年生

			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	関町小	平均	13.4	17.9	29.3	38.1	39.7	9.5	143.1	20.5	47.9
	東京都	平均	14.5	18.3	31.2	38.5	44.1	9.6	142.2	18.4	49.2
		Tスコア	46.6	49.3	47.4	49.5	47.7	50.1	50.5	52.9	
女子	関町小	平均	13.0	15.5	32.3	35.8	27.7	9.8	135.0	10.4	47.5
	東京都	平均	13.8	17.7	35.3	36.8	33.3	9.9	135.5	11.0	50.1
		Tスコア	47.6	45.5	45.9	48.5	45.9	51.5	49.7	48.3	

○5年生

			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	関町小	平均	15.3	18.4	32.3	46.5	56.2	9.3	160.9	22.5	54.9
	東京都	平均	16.6	20.0	33.4	42.2	51.6	9.2	151.4	21.8	54.5
		Tスコア	46.3	47.0	48.6	56.3	52.3	48.5	54.9	50.8	
女子	関町小	平均	16.7	17.8	37.9	44.7	41.3	9.5	147.8	13.3	56.7
	東京都	平均	16.2	19.1	38.1	40.4	40.2	9.5	145.1	13.1	56.0
		Tスコア	51.2	47.3	49.9	57.1	50.7	49.1	51.4	50.5	

○6年生

			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	関町小	平均	18.1	21.6	34.3	45.4	58.1	9.0	166.9	24.7	59.1
	東京都	平均	19.3	22.0	35.7	45.3	59.1	8.8	161.8	25.4	60.1
		Tスコア	47.2	49.4	48.3	50.2	49.5	47.3	52.4	49.3	
女子	関町小	平均	18.7	20.1	39.5	42.9	42.1	9.2	166.4	13.8	60.7
	東京都	平均	19.1	20.4	40.8	42.9	45.9	9.1	153.7	14.8	61.1
		Tスコア	48.9	49.3	48.5	50.0	47.6	48.4	56.3	48.0	

※数値は便宜上、小数第二位を四捨五入して表示しています（実際の数値は、小数第二位以降も続いている場合があります）。そのため、関町小と東京都の数値が、表示上同じ数値であっても、Tスコアに差異が見られることがあります。

●考察

「体力テスト」では、以下の測定種目を実施し、スピード、全身持久力、瞬発力、巧緻性、筋力、筋持久力、柔軟性などの体力評価を行っています。

測定種目	運動評価	体力評価
50m走	走能力	スピード（すばやく移動する能力）
20mシャトルラン		全身持久力（運動を維持する能力）
立ち幅とび	跳躍能力	瞬発力（すばやく動き出す能力）
ソフトボール投げ	投球能力	巧緻性（運動を調整する能力） 瞬発力（すばやく動き出す能力）
握力		筋力（大きな力を出す能力）
上体起こし		筋力（大きな力を出す能力） 筋持久力（筋力を維持する能力）
長座体前屈		柔軟性（大きな関節を動かす能力）
反復横とび		敏捷性（すばやく動作を繰り返す能力）

参考（文部科学省：「子ども体力向上のための取組ハンドブック」より）

結果から

今年度、各学年とも体力合計点において、東京都の平均と比較して、「ほぼ等しい」、または「やや低い」水準となりました。

測定種目の中では、「立ち幅とび」において都の平均を大きく上回る高い水準となる学年が多く見られました。また、昨年度の課題であった「ソフトボール投げ」では、多くの学年で都の平均を上回る結果となりました。

一方、「握力」と「長座体前屈」、「上体起こし」が低い傾向にあります。特に「握力」については、東京都の平均と比べて大きく下回る学年が多く見られました。昨年度の体力調査の結果においても「握力」の水準は低く、ここ数年の傾向であると言えます。また、「長座体前屈」と「上体起こし」については、「握力」ほど都の平均より大きく下回ることはないものの、全ての学年で都の平均よりも低い水準となりました。

体力向上のために

昨年度の体力テストの結果を受けて、今年度本校では、子供たちの「握力」と「投力」の向上に向けて、体育の授業で意図的に「投げる運動」を行う機会を多く設定する取り組みを行ってきました。その結果として、今年度の「投力」に伸びが見られたものと考えています。

上にお示したように、今回の結果から「握力」、「柔軟性」に課題が見られました。来年度、「握力」については、力を入れて握る経験が積めるような器具の活用、「柔軟性」については、体育の準備運動でのストレッチの充実などに取り組んでいく予定です。今後も学校では、子供たちの体力向上と課題の改善を目指していきます。

休み時間などに、ボールを使った遊びやおにごっこなどの走る遊びをしている子供たちの姿は多く見られます。体力を高めるためには、様々な運動を経験することも重要です。そのため、ボールを投げたり走ったりする遊びだけに偏ることなく、縄跳びや鉄棒など様々な遊びを通して運動（動き）経験を積み重ねていけるよう支援していきます。

また、体を動かす遊びを日常的に行う習慣も大切です。御家庭でも休日や放課後に、外遊びの習慣が身に付けられるよう呼び掛けていただくと幸いです。特に、柔軟性については、毎日の小さな積み重ねが大きな成果につながると考えます。けがをしにくい体づくりのためにも、親子一緒に御家庭でストレッチに取り組むなどしてみたいかがでしょうか。

平成 28 年度の学力・学習状況調査等の結果のお知らせ

4月19日（火）に全国の6年生を対象として、7月7日（木）には東京都の5年生を対象として調査が実施されました。この調査は児童一人一人の学力の状況を把握し、その結果を基に指導方法を改善して児童の学力向上を図るためのものです。本校の結果考察・改善策がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 平成28年度 全国学力・学習状況調査（6年生）の結果

*国語A・算数A・・・これまでの学習内容を理解し、しっかり習得しているかどうかを見るもの

*国語B・算数B・・・これまで学習した内容を、他教科や実生活の中で活用できるかどうかを見るもの

<国語>

<数値は正答率、単位は%>

国語A (主として知識)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	国語全体
関町小		85.6	78.8	77.9	75.1	76.7
東京都平均		81.6	77.2	79.9	71.2	73.8
全国平均		79.2	72.8	78.5	71.1	72.9

国語B (主として活用)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	国語全体
関町小	57.2	56.4	56.1	74.0		61.9
東京都平均	55.3	52.7	55.2	70.7		59.8
全国平均	54.7	51.1	53.4	69.3		57.8

<算数>

算数A (主として知識)	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形につ いての技能	数量や図形につ いての知識・理解	算数全体
関町小			82.1	77.7	79.1
東京都平均			83.5	77.6	79.4
全国平均			82.5	75.4	77.6

算数B (主として活用)	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形につ いての技能	数量や図形につ いての知識・理解	算数全体
関町小		43.8	57.7	76.0	50.9
東京都平均		42.8	58.8	72.6	49.8
全国平均		40.9	53.3	69.5	47.2

<各教科の結果考察と改善策>

【国語】 A問題では国語全体としては都の平均を2.9ポイント上回りましたが、「読む能力」が都の平均を2ポイント下回ってしまいました。目的に応じて、複数の本や文章などについて、様々な読み方ができるよう「100冊読書」の取組の定着などに力を入れ、読書を通じた読む能力の強化を図っていきます。

B問題では、全ての観点で都の平均を上回りましたが、「グラフを基に、分かったことを的確に書く」問題で2.4ポイントほど都の平均を下回ってしまいました。文章と関係付けながら的確な分析ができるように、他教科においても資料を読み取る力を付け、言語能力の向上に努めます。

【算数】 算数全体としては、都の平均をA問題では0.3ポイント下回り、B問題では1.1ポイント上回りました。基礎・基本の定着がまだ不十分ということが結果として表れているため、今後も習熟度別での指導計画を綿密に立てたり朝学習の内容を充実させたりして、一人一人に算数の知識・技能がしっかり身に付くように努力していきます。また、基本的な問題で用いた考えを適用して、新たな問題が解決できることを実感するような指導を心掛け、算数の知識・技能を活用できる力も高めていきます。

2 平成28年度 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査（5年生）の結果

A 教科の内容

<数値は正答率、単位は%>

国語	関心・意欲・態度	思考・判断・表現 (話す・聞く)	技能 (書く)	知識理解 (言語)	読む	A全体
関町小	91.2	85.3	53.8	77.9	74.7	77.4
東京都平均	90.6	82.3	54.0	78.0	72.9	76.5
社会	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識理解	読む	A全体
関町小	91.2	58.2	80.2	78.5		74.5
東京都平均	91.3	58.2	81.0	69.9		72.9
算数	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識理解	読む	A全体
関町小	85.9	54.1	67.6	74.1		69.5
東京都平均	82.6	54.8	64.9	72.6		67.7
理科	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識理解	読む	A全体
関町小	94.6	77.0	47.6	61.4		66.1
東京都平均	94.8	74.2	48.4	56.4		63.5

B 読み解く力に関する内容

国語	取り出す力	読み取る力	解決する力	B全体
関町小	78.0	73.6	28.6	60.1
東京都平均	78.2	74.1	33.1	61.8
社会	取り出す力	読み取る力	解決する力	B全体
関町小	83.0	65.9	75.8	74.9
東京都平均	80.0	65.5	69.7	71.7
算数	取り出す力	読み取る力	解決する力	B全体
関町小	72.3	26.1	32.1	43.5
東京都平均	70.6	25.0	33.3	42.9
理科	取り出す力	読み取る力	解決する力	B全体
関町小	62.5	64.1	53.3	60.0
東京都平均	66.1	60.5	51.1	59.2

<各教科の結果考察と改善策>

【国語】 全体では都の平均をA問題で0.9ポイント上回り、B問題では1.7ポイント下回りました。文章から意図や背景や理由を理解・解釈・推論して解決する力に課題があることが分かりました。目的に応じて複数の資料を読む学習活動などでは、内容がどのように関連付けられるか考えるように指導していきます。

【社会】 全体では都の平均をA問題で1.6ポイント、B問題でも3.2ポイント上回りました。しかし、観察・資料活用の技能について課題があることが分かりました。資料の選び方などについて児童自身が主体的に考えていく活動を取り入れていきます。

【算数】 全体では都の平均をA問題で1.8ポイント、B問題でも0.6ポイント上回りました。しかし、読み取ったことを基に、問題を解決する力に課題があることが分かりました。習熟度別の指導のさらなる充実を図りながら思考力を高め、発展的な問題にも対応できる力が付く指導を目指していきます。

【理科】 全体では都の平均をA問題で2.6ポイント、B問題でも0.8ポイント上回りました。しかし、資料を読み取り、必要な情報を取り出す力に課題があることが分かりました。授業の中で、実験や観察の結果から何が言えるかなど、さらに考える場を充実させ、結果を分析的に考えさせる工夫をしていきます。